

佛蘭西に於ては外國鐵は内國鐵と同く一六二六年以來消費者に所謂 “Droit de marque sur le fer” により一種の消費税を賦課せり(普通の鐵には一ツエントナー一〇ス、鋼には一二ス)該消費税は其後屢々改正せられたるも革命時代に到る迄存續せられたり、原料鐵及鍛鐵は同條例により其輸出を禁止せられたるも鋼は刻印を附して之か輸出を許可せり。

コルベールの關税法に於て始て鐵に保護關税を課したるか、同法は今日より之を觀るも頗る適切なものなり、其後數度の革命により其政體か幾多の變遷を経たると等しく其關稅制度も亦種々の變革を見て今日に到れり。

今佛國現行關稅表中其代表的のものに付て之を觀るに大體獨逸よりも重し、又之を同國の銅の保護税と對比するに後者遙に輕し、此銅鐵保護輕重の關係は獨逸に於けると同じきも其程度遙に大なり、之れ兩國の産鑛額に差あるを以てなり。

#### 四、英吉利

##### 自由貿易主義

英國は自由貿易國なり、放任無干涉の國なり、少くとも主義としてはアダム、スミスのドクトリンを實行する國なり、此の如き國に於て保護政策の有無を調査するか如きは木に緣りて魚を求むると一般なり、然も尙此調査に於て英國を研究せんとする所以のものは自由貿易主義は製鐵業の興隆を招來するを得るや、放任無干涉は果して製鐵業の繁榮を永く維持するの道なりや否やを知らんとするか爲なり、茲には此問題を具體的となす爲め自由主義の本に於ける鐵鑛供給の現狀如何を説明するに止めんとす。

英國は他の何れの國よりも近世的大工業の興隆に都合よき條件を具備せり、即ち工業組織の第一材料たる鐵と石炭とに富み、且つ其所在多く互に相隣接して海岸に近く運搬に便利なり、尙西班牙及

瑞典其他より原鑛を容易に且つ低廉に輸入することを得。

此の如き天恵多き國たるに拘らず、鐵鑛及炭坑の内地に存して交通運輸の點に於て英國に數籌を輸する大陸諸國に對し敗退の色あるは如何。

之れ英國か天恵を頼んで最善の努力をなさざりし事其第一因なり、蓋し英國鐵鑛の産額元より少きに非ざるも製煉技術及鐵の市價の今日の狀況の下には之を自國産鑛のみに依頼するを得ず、即ち其不足額を他國に仰かんとして圖らすも強敵獨逸に遭遇せり、然も元來自由放任主義は無敵なる間は優秀なる政策なり、自己のみか賣手にして他人か凡て買手なる場合は利益なる方針なりと雖、有力なる商敵か出現したる場合は最も拙劣なる戰鬪法たるなり、然れとも英國人の固陋にして自尊心の強き傳燈の政策を一擲し、新機運に乗して新運命を開拓するの勇氣と決斷とに乏しく、天與の恩恵も空く泥土に委して省られず、其原料の供給に於ても後進獨逸の爲に壓迫驅逐されんとす、英國の爲に惜むべきなり。

### 鑛業法

吾人は此機會を利用し英國鑛業法の不備不完全なるを論述するも亦他山の石たるを失はずと信す。

鑛業法に關しては英國は露國と同一地位にあり、二國に於ては地表の所有者は其地下の富の所有者なり、即ち土地の所有權は天空より地軸に至るとの羅馬法の原則は文字通に實行さるゝなり、但貴金屬は國の所有に屬するを以て之を除く、百弊は一惡法より生ず、即ち之か爲に鑛業主は一定の納物を土地所有者に支拂はさる可からず、之か爲に企業費生産費を高むべきや明なり。

ケンダル曰く「Royalties 及 Wayleaves の組織こそ比較的劣等なる鑛山の稼行に對する一大障礙なり否、假令優等なるものと雖商況不振の際には殆と稼行を繼續し難し」と。

又之れより生ずる第二の不都合は鑛石の採取には土地所有者の承諾を必要とすることなり、即ち土地所有者は任意に地下鑛石の利用を拒絶するを得へし。

ケンダルは又曰く「著者は此の如くにして閉鎖せられたる鐵鑛か非常に多額に上る可きを知る、之れ其所在地の大なる損害たると共に國民に取りても亦甚しき損害なり」と。

英國人中又此點を攻撃して盛んに其改正を絶叫せしもの無きに非るも地主黨は常に議會の多數を占むるか故此種議案の通過は近き將來に於て望み難し。

### 鐵道

英國の鐵道も亦鑛業權に關する法制の不備に比して相下らざる程度の缺點を有す。

英國の鑛山は前にも述べたるか如く海岸及産炭地に近きを以て運送に關しては他の歐羅巴諸國より其重要の度は少けれども尙閑却す可らざる事項たるや明なり。

英國に於ては運賃の割引は運送距離平均二〇乃至三〇軒に達して止む、其以外の割引は決して行はず且つ其原鑛輸送賃率は西班牙を除きて何れの國よりも高し。

賃率は殊に複雑を極む、加之、貨物輸送は全然鐵道會社の自由に放任され鐵道會社は其運賃を隨意に變更し然も時として之を一時に公表せず。

シツフの説く所に依れば英國議會及商務省は賃率制度の改善に多年努力し來れるか賃率低減の法令は常に種々の方法により鐵道會社より應報され兩者の争は常に絶ゆることなし、且つ運賃引下か行れたる場合は最早再ひ引上ること法律上不可能なる爲め驚くべき運賃の固定状態に陥りたり、斯くて英國に於ては典型的貨物賃率も階級賃率も存することなく唯個々の場合の必要に應じて定められたるものに過ぎず。

上に叙説し來れるか如く鑛業權に關し、將た又鐵道運輸に關して改良を要すること枚舉に違あら

す然も此種の改革たるや土地所有者及鐵道支配者か公共の爲、自己の利益を犠牲にする精神を生し、且つ爲政者並に有力者か從來の近視眼的政策は英國の工業、否英國自身の將來か危機に瀕せしむることを自覺する迄は不可能なり、尙永く改むるを知らざる保守的經營法、及製煉採鑛法の如きも之を一新するを要すること勿論なるか之等は前に掲げし困難に比して容易に實行することを得へし。

### 關 稅

英國の關稅は凡て財政關稅なり、故に苟も其國內に産出する貨物の種類に付ては之を課稅せず、鐵の如きは固より無稅なり、唯歴史上種々の制限を附せし例あるも之を略す。

### 五、合 衆 國

#### 鐵トラスト

合衆國の經濟狀態の研究にはトラストシステムを閉却する能はず。

鐵トラストは United States Steel Corporation にして、其創立には八大會社之に關係し、資本金一、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗に達す。

### 關 稅

一七九二年に到る迄凡ての種類の鐵板及鐵器類に對する關稅は僅に價格の七、五分に過ぎず、然れとも一八一六年迄に次第に引上げられ結局從價三割五分迄になりしも、其後一高一低あり以て今日に至れり。

米國現行稅率(一九一三年發布)は從來の定率の如く鐵鑛に課稅するか如きことはなさざりしも尙其稅率他國に比して重し。

米國の鐵の地位を按ずるに世界の首位を占め第三位にある英國に對して凡そ二倍の産額あり、第二位たる獨逸に對してすら尙一割強多し、然るに翻て銅を視るに銅に於ても亦米國其首位にあり、然